

2018 - 19年度 RI テーマ



インスピレーションになるう

Rotary International
国際ロータリー会長
バリー・ラシン



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

新しく生まれ変わろう
ークラブネッサンス

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：品川 芳洋
●幹 事：堀内 伸也
●会報委員長：高岡 正和

今週のプログラム

第2216回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「我等の生業」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ 卓話 「選抜高校野球の歴史」 辻田 撰会員
- ⑦ 閉会 点鐘

*4/4（木）

①2018-19年度ロータリー賞申請の為の説明会

於：ガバナー事務所大会議室

15：00～17：00

堀内幹事、山本事務局員 出席予定

②四和会（ホスト：大阪柏原RC）

於：KKRホテル大阪 2階「白鳥」

受付：17：30～ 四和会：18：00～20：00

品川会長、堀内幹事兼次年度副会長

長尾会長エレクト、辻田次年度幹事

山本事務局員 出席予定

来週の予定

第2217回例会 4月5日（金）

*親睦旅行の為、例会時間を

11：30～12：30に変更

☆卓話「戦後、世界と日本の技術進歩と経済」

安田 信幸会員

☆4月誕生月祝 品川会員、柳会員

☆4月結婚記念日祝

石川会員、桑田会員、森田会員

*4/5（金）～6（土）

クラブ親睦旅行 天橋立方面への旅 1泊2日

池本会員、石川会員、奥田会員、桑田会員、
品川会員、鈴木会員、高岡会員、高橋会員、
中澤会員、堀内会員、森下会員、安田会員、
山本事務局員 参加予定

前週の例会記録

2019年3月15日（金）

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2215回	27名	14名	66.7%	出席義務免除 7名（出1）
第2213回	27名	16名	72.7%	補 填 2名

ニコニコ箱

●春のライラへのご参加よろしくお願い致します。

東大阪東RC様

★例会場：LINOAS（リノアス）8階 バンケットルーム 〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番

★例会日時：毎週金曜日12時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 LINOAS（リノアス）8階 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

●東大阪東RC 吉崎広江様ようこそご訪問ありがとうございます。

藤井奈緒様、本日は卓話ありがとうございます。よろしくお願ひ致します。 桑田 タア子会員

●藤井先生、本日の卓話よろしくお願ひします。

大橋 秀造会員

●今回合計 7,000 円

●累計 504,000 円

会長の時間

会長代理 桑田 タア子副会長

職業人としてのロータリアンの心構えを、ロータリー倫理基準から具体的に記述したものが「ロータリー倫理訓」だとすれば、ロータリアンのみならず一般の職業人にも理解できるように簡潔的、かつ的確にまとめたものが「四つのテスト」です。

シカゴ・クラブの会員のハーバート・テラーは、当時経済恐慌の煽りを受け会社経営が困難を来し倒産の危機に擬していた、クラブ・アルミニウム社の社長に就任しました。

景気が冷え込み社員の勤労意欲も落ち込んでいます。このような時ほど、全員が倫理的な、正しい営業活動を行えば必ず会社は再建出来るのだということを実証するために、画期的な経営管理の指針を考え出したのです。

会社の誰も憶えられ、他の人にも解りやすく、考えたり、言ったり、行動するときに応用できる、道徳的な指標が必要であるとのおもいから、考え思い浮かんだのが24語の言葉です。

The Four-Way Test of the things we think say or do

1. Is it the TRUTH?
2. Is it FAIR to all concerned?
3. Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP?
4. Will it be BENEFEFICIAL to all concerned?

「The Four-way Test」

これにより、クラブ・アルミニウム社の業務は改

善を続け5年後には借金は完済されその後、株主には多額の配当を分配するまでになりました。シカゴ・クラブがその「四つのテスト」の存在を知ったのは、1939年の事です。

ハーバート・テラーは1939~1940年にクラブ会長になり、更に国際ロータリーの会長を歴任した際「四つのテスト」があまりにも素晴らしいので、全国のロータリアンの職業奉仕の指針にしたいと言う声があり、彼がRI会長に就任した1954年にその著作権がロータリーに寄付され、今日に至っています。

RIではロータリーの「文献の英語以外の国語への翻訳、印刷はすべてRIの事務総長直接の監督下に置かれ独自に翻訳、修正することは出来ない。ロータリーの文献や配布もRI理事会の承認を要する」と定められさらに、日本語への翻訳については「定款・細則から諸パンレットや手続要覧に至るまで、すべてのロータリーの文献の邦訳の決定権は、手島知健氏に移譲する」と指定されています。

「四つのテスト」の日本語訳については1954年「簡潔で、わかり易いもの反語を避けて誓言的でないもの、ロータリアン以外の人々、特に若い人にも難解でないもの」との条件の下に、全国のクラブに日本語訳の応募を募り、多くの応募作品から現在の「四つのテスト」が提唱されています。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

ロータリー情報より抜粋

幹事報告

【配布物】

- ①週報
- ②ロータリー友誌
- ③卓話資料

【連絡事項】

- ①次週 3/22（金）は定款による休会、次回例会は 3/29（金）

【回覧】

- ①3/9（土）IMRDのお礼状
（ホスト：大阪なにわRCより）

卓話

「障害者家族の未来のために
～知って欲しい

『親なきあと』のこと～」

Office ニコ

障害者の家族による

『親なきあと』『親あるあいだ』の相談室

代表 藤井 奈緒氏



私は、八尾市在住の藤井奈緒と申します。普段は、高1と小3の2人の娘を育てながら『終活』に関するセミナーや相談支援の仕事をしております。

親なきあと…。皆さんはこの言葉をご存知でしょうか。

障害のある子を育てる親が、病気で倒れたり、天国に行ってしまったら、その子の面倒をみるのは、誰なんでしょうか…。その子に合った入所施設を探したり、その子が病気になった時、治療方針を決めるのは、一体、誰なんでしょうか？

『親なきあと』についての懸念は、障害者とその家族にとって、避けては通れない問題で、多くのご家庭が解決できないまま、抱えて続けている問題なのに、備える為の具体的な方法を、ご存知でない方が非常に多いのが実情です。

実は私の長女も、最重度の知的障害者で、もしこのまま何の備えもしなければ、いずれは6歳下

の妹が、私に代わって長女の面倒をみることになるでしょう。ですが、妹には妹の人生があるから、姉である長女の人生を背負わせたくはないと考えています。

私は、セミナーや個別相談を通じて、『親なきあとに備える』ということの重要性を、広く皆様にお伝えすることをライフワークと捉えて取り組んでおります。例えば、相続対策や成年後見制度などで、将来に向けて“法的”に備える方法や、上手なお金の残し方、お世話になる方々に、我が子のことをうまく伝える方法など、なるべくわかりやすい言葉でお話しするよう努めています。そして、自分も同じ“障害者の親”という立場から当事者の目線立って、心を込めてお伝えするようにしています。

また私は、「親なきあと」に備えるために記入するノート『親心の記録®』という、いわゆる、子どものために書き残すエンディングノートの配布活動に携わっており、このノートの必要性、重要性が注目され、昨年末にはNHKの特集で、先月には産経新聞の一面で、私の活動を紹介して下さいました。もしも皆さまのお知り合いに、このノートが必要なご家庭があらわれましたら、「こんなのあるらしいよ」と、ご紹介頂ければ嬉しいです。

今はまだ『親なきあと』の問題は、あまり認知されているとはいえませんが、障害のある子ども、ない子ども、できることなら住み慣れた地域で、ずっと笑顔で暮らしていけるよう、そのお手伝いをすることが、私の使命だと思っております。今、各分野のエキスパートでありながら、尚且つ障害を持つ子の親の立場の者を集め、障害者家族専門の終活相談窓口『親なきあと相談室 関西ネットワーク』の開設準備をしております。まずは地元、この八尾から、『親なきあと』に困る人が1人もいなくなるように、地道に、そして丁寧に、この活動を続けて参りたいと思っております。



第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB